



(写真) ベネズエラ情報通信省 “ベネズエラの二輪産業について確認”

ベネズエラ二輪車組立産業

株式会社ベネインベストメント
松浦 健太郎

2 023年に入り、ベネズエラは景気低迷の傾向にある。そんな中、比較的好調に見える業種が二輪車の組み立て産業である。

「ベネズエラ二輪車組立工業連合会 (Aifem)」の代表は2022年の年間組立台数は15万台だったと発言。23年の組立台数の目標は28万台とした(「[ベネズエラ・トゥデイ No.927](#)」)。

本稿では Aifem の資料から二輪車組立産業の現状について確認したい。

二輪組み立て 日本ブランドは3社

Aifem の Xiomara Hoyo 代表によると、ベネズエラ国内には15社の二輪組立会社が存在するという。

ただし、Aifem に加盟しているのは11社で、統計も加盟企業の実績しか確認することはできない。

加盟企業は次ページの通り。「Mishozuki」はパナマの二輪メーカーのようだが、この会社だけは Aifem 加盟企業の中で組立実績が掲載されていない。

ただし、筆者の認識としては同社のベネズエラでの知名度は低く、生産台数はほとんどないだろう。

Aifem 加盟企業リスト

加盟企業	ブランド
1 Auto Partes Lara, C.A.,	Bell
2 Big Hou Industrial, C.A.,	Vensum
3 Corporacion Kuri Sam, C.A.,	Bera
4 De Caro Motos, C.A.,	De Caro
5 Empire Keeway	Empire
6 Inversiones MZ Ensamblés del Sur, C.A.	Mishozuki
7 KMV, C.A.,	Kawasaki
8 Mishozuki	
9 Moto Deiicias, C.A.	MD
10 Soloson Import, C.A.,	Suzuki, Houje
11 Vefase, C.A.,	Vefase
12 Venemotos, C.A.	Yamaha

ベネズエラでも日本の二輪車の知名度は高い。

「スズキ」は「SOLOSON」。

「ヤマハ」は「VENEMOTO」。

「カワサキ」は「KMV」と夫々現地の企業が組み立てを行っている（バイク自体はスズキ、ヤマハ、カワサキのブランド名で販売されている）。

下表は、Aifem に加盟する企業の2018年～21年までの組立（生産）実績と販売実績である。

表： Aifem加盟企業の生産実績（2018年～2021年）

	2018	2019	2020	2021年												合計	
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
BERA	0	1,584	16,176	2,260	2,260	2,260	2,260	2,260	2,260	2,260	2,260	2,260	2,260	2,260	2,260	2,260	27,120
BIG HOU	0	0	108	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	30
MD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
SOLOSON	1,121	50	4,840	257	1,012	396	515	796	928	1,253	921	678	840	601	804	9,001	
DE CARO	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
KAWASAKI	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
YAMAHA	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
EMPIRE	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
APL	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
VEFASE	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	1,121	1,634	21,124	2,517	3,272	2,656	2,775	3,056	3,188	3,513	3,181	2,938	3,100	2,861	3,094	36,151	

表： Aifem加盟企業の販売実績（2018年～2021年）

	2018	2019	2020	2021年												合計	
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
BERA	0	1,968	15,636	2,395	2,395	2,395	2,395	2,395	2,395	2,395	2,395	2,395	2,395	2,395	2,395	2,395	28,740
BIG HOU	0	0	30	31	30	5	2	37	0	1	2	0	1	1	0	110	
MD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
SOLOSON	655	30	5,268	730	730	730	730	730	730	730	730	730	730	730	730	8,760	
DE CARO	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
KAWASAKI	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
YAMAHA	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
EMPIRE	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
APL	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
VEFASE	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	655	1,998	20,934	3,156	3,155	3,130	3,127	3,162	3,125	3,126	3,127	3,125	3,126	3,126	3,125	37,610	

(出所) Aifem

上表の通り、2018年に組み立て、販売を続けていた企業は「SOLOSON」のみ。その後、2019年から「BERA」が組み立て販売を再開。

その後も実質的に「BERA」と「SOLOSON」の2社だけが組み立て、販売を続けている。

21年の年間組み立て台数は36,151台だったのに対して、販売台数は37,610台。消費低迷に悩むベネズエラだが、二輪車については“作れば売れる”と言ってよいようだ。

この傾向は2022年も変わらない。

Aifemに加盟する企業の22年の年間組み立て台数は79,624台。うち「BERA」が全体の82.5%を占める65,676台。「SOLOSON」が同16.4%を占める13,060台。

他に「APL」「VEFASE」がそれぞれ1%弱の組み立てをしている。

表： Aifem加盟企業の生産実績（2022年）

	2022年												合計	割合	前年比
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
BERA	5,473	5,473	5,473	5,473	5,473	5,473	5,473	5,473	5,473	5,473	5,473	5,473	65,676	82.5	142.2
BIG HOU	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	-100.0
MD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	-
SOLOSON	378	724	1,329	545	1,268	1,113	1,070	1,037	702	1,558	1,654	1,682	13,060	16.4	45.1
DE CARO	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	-
KAWASAKI	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	-
YAMAHA	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	-
EMPIRE	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	-
APL	46	46	46	46	46	46	46	46	46	46	46	46	552	0.7	全増
VEFASE	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	336	0.4	全増
合計	5,925	6,271	6,876	6,092	6,815	6,660	6,617	6,584	6,249	7,105	7,201	7,229	79,624	100.0	120.3

表： Aifem加盟企業の販売実績（2022年）

	2022年												合計	割合	前年比
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
BERA	5,471	5,471	5,471	5,471	5,471	5,471	5,471	5,471	5,471	5,471	5,471	5,471	65,652	85.2	128.4
BIG HOU	0	1	5	2	6	0	2	11	1	0	0	0	28	0.0	-74.5
MD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	-
SOLOSON	350	720	1,116	458	1,065	935	899	871	590	1,308	1,389	1,412	11,113	14.4	26.9
DE CARO	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	-
KAWASAKI	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	-
YAMAHA	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	-
EMPIRE	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	-
APL	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	全増
VEFASE	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	300	0.4	全増
合計	5,846	6,217	6,617	5,956	6,567	6,431	6,397	6,378	6,087	6,804	6,885	6,908	77,093	100.0	105.0

(出所) Aifem

Aifem 統計と Aifem 代表の発言が一致せず

先に Aifem の二輪組み立て実績の表を紹介したが、この表を信頼して良いものかどうか個人的には疑問を感じている。

理由は冒頭で説明した Hoyo 代表の発言した組み立て台数と数字が大きく違うからだ。

Hoyo 代表は 22 年の組立台数について 15 万台と言及していた。

しかし、統計によると 22 年の組立台数は 79,624 台。半分近く足りないことになる。

Aifem に加盟していない企業が 7 万台を組み立てているかもしれないと思い、調べてみたが Aifem に加盟していない企業で目立ったシェアを占めているようなブランドは確認できなかった。

つまり、「Hoyo 代表の発言が間違っている」あるいは「統計が正しくないか」のいずれかである。

以下、統計の疑問点を挙げてみたい。

Aifem 加盟企業の中で圧倒的なシェアを占めている「BERA」だが、各月の組立台数、販売台数をみると、全ての月で同じ数字が書かれている。毎月同じ台数を組み立て、同じ台数を販売することなどありえないだろう。

従って「BERA」は、正確な数字を報告していないと思われる。

また、国家警察が使用しているバイクを調べてみたが、「Kawasaki」の二輪が多く確認できた（1 ページ目の写真の二輪“K L R 6 5 0”はカワサキのバイク。その後ろに見えるバイクも“KAWASAKI”と書かれている）。

輸入した二輪車かもしれないが、Kawasaki は表中では 2018 年～22 年にかけて 1 台も二輪車を販売していないことになっている。17 年以前に販売されたものかもしれないが、写真を見る限りバイクはかなり新しく見える。

加えて、表中では「APL (Auto Partes Lara)」が 2022 年に 552 台を組み立てたと書かれているが、APL が請け負っているブランド「BELL」は米国の二輪ヘルメットメーカーのようだ。従って、「APL」については二輪車の組み立てではなく、ヘルメットの生産ではないだろうか。

このように表の情報を精査すると色々な疑問点が浮かぶ。統計の正確性に疑問がありつつも、二輪組み立て産業が回復しつつあることは確かと言える。

BERA 新車 1 台 590 ドルから

統計の通り、ベネズエラの二輪市場で圧倒的なシェアを占めているのは「BERA」。

「BERA」は自社のウェブサイトで「VENEZUELA ES TERRITORIO BERA (ベネズエラは BERA のテリトリー)」と謳っている（次ページに BERA のウェブサイト掲載）。



「BERA」の一番の強みは「価格」だろう。安いもので1台590ドルから。ベネズエラは舗装されていない道が多いので、ビッグスクーターよりもオフロードタイプのバイクの人気が高い。



1997年に「BERA」をアラグア州に登記。当初は中古二輪車の販売を生業にしていたという。

そして、2000年に二輪車の輸入に事業を拡げ、大成功を収めた。

また、2005年には「Corporacion Kuri Sam」としてヤラクイ州に1つ目の二輪車組立工場を建設。

「Bera」の組立・販売を開始した。組み立て部品をどのメーカーから輸入しているかは明らかにされていないが、中国から輸入しているようだ。

なお、急激に事業を拡大した背景には与党政治家の力があつたとの噂も存在する。

具体的に名前が挙がっている人物は、与党ナンバー2とされるディオスダード・カベジョ副党首。他に、タレク・エル・アイサミ元石油相の名前も挙がっている。



(写真) BERA

BERA 会社自体はロープロファイル

BERAの知名度は高いが、会社自体はナゾが多い。

インターネットで確認した情報によると「BERA」の社長はアラブ系ベネズエラ人のElias Beirouti氏(右上の写真の男性)。

また、2018年にベネズエラ国軍の使用する二輪車を「BERA」が生産するとの記事が報じられた。国内で組み立てられた二輪車の一部は政府系の需要に充てられていると思われる。

他、二輪車の輸入に当たり、政府から優先的に外貨割り当てを受けていたとの訴えもあり、国会に「BERA」を捜査するよう求める団体も存在する。

23年には YAMAHA も再開？

22年10月 「YAMAHA」の二輪車の組立を請け負っている「Venemoto」のクラウディオ・イポリト社長は、「2023年に国内組み立てを再開したい」との意気込みを述べていた（「[ベネズエラ・トゥデイ No.817](#)」）。

現在のところ、同社のウェブサイトはメンテナンス中で「COMING SOON!」と書かれているだけ。

二輪車の販売はしていないようだが、近いうちにベネズエラで事業を再開する日が来ることを期待したい。



(写真) Venemoto

以上